

単元名 8 未来へ向かって ーわたしを束ねないで

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 言葉の使われ方や表現の特色に気を付けながら詩を朗読することができる。
 (2) 詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えることができる。
 (3) 詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとする。

標準的な展開例

12210302_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「わたしを束ねないで」という題名から、内容を想像する。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★朗読を通して、詩のもつイメージを捉えよう。 ○朗読し、リズムを味わう。 <p>○気になった言葉や表現上の特徴などを抜き出す。</p> <p>○気付いたことや考えたことを発表する。</p> <p>2 「わたしを束ねないで」で作者が訴えている思いや願いを読み取り、自分の考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★詩に込めた作者の思いを読み取り、自分の可能性について考えよう。 ○対比されている表現や比喻されている表現から、作者の思いをまとめる。 ○読み取った作者の思いを基に、自分の可能性について考える。 <p>○自分の可能性について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「束ねる」という言葉からイメージを広げさせたい。 ・自由に想像させ発表させたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・詩を朗読し、全体のリズムをつかませ、詩に表された情景をイメージする。 ・教師の範読か、国語指導CDを利用するのもよい。 <p>【評】朗読する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の表現について、次の視点で分類しながら抜き出させる。 <ul style="list-style-type: none"> ①言葉の使い方や表現がおもしろいと感じたところ。 ②人の生き方についての作者の考え方が表れていると思ったところ。 ・繰り返し使われている言葉や構成、表現技法などに注目させる。 ・書き出した言葉や表現を基に、気付いたことや自分の考えを発表させる。 ・友達の発表から感じたことを書き留めさせる <p>【評】気付いたことを発表する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喻表現から受ける印象を基に、作者が詩に込めた思いを考えさせる。 ・共感するところ、違うと感じるところを整理して、自分の可能性について考えをまとめさせる。 <p>【評】作者の思いを想像しながら、自分の可能性について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩を通して考えた自分の可能性について、互いの考えを発表させる。 <p>【評】自分の可能性について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【備 考】

国際性というと、流暢な外国語の能力や事業のスケールといったことばかりに目が向きがちである。しかし、それとは全く意を異にしている文章を読むことで、生徒たちに国際社会における人と人との関係についての考えを深めさせたい。また、新しい進路を控えたこの時期の生徒たちは、「自分とは何か」、「自分らしく生きるためにはどうすべきか」を探し求め始める。しかし、その答えは、そう簡単に見つかるものではない。他の人々の生き方や文学作品に表れた作者の思いに触れることで、少しずつ探り当てていくものだろう。教材を通して、国際社会の中で、自分らしく生きることとはどういうことかを考えさせたい。

中学校3年間の学習もまとめの時期である。教科書やノート、学習プリント、作品、さらには読書記録などを見直して、学んだこと、身に付いたこと、出会った言葉など、観点を立てて整理することを通して国語の学習のまとめとしたい。また、まとめた冊子などをもとに発表会などをして、互いにこれからの学びに生かせることなどを話し合わせたい。